

広島大学法科大学院

小論文試験

2024年11月9日(土)

10:00～11:20

注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて8ページです。
- 2 解答用紙は3枚、下書用紙は2枚です。問いごとに解答用紙があります。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外、マス枠外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

【問題】

以下の文章は、タバコ問題を倫理的に考察する論文からの抜粋である。この文章を読んで、次の問いに答えなさい。なお、出題に際して、一部省略・変更した箇所がある。

第1問（60点）

【文章1】において著者は、喫煙規制を倫理的に正当化付けるロバート・グッディンの議論を紹介している。グッディンの議論を600字以内で要約しなさい（句読点も1字と数えるものとする）。

第2問（40点）

【文章2】で紹介されている東京都受動喫煙防止条例は倫理的に正当化し得るか。【文章1】のグッディンの見解（特に文章【1】の末尾にある例外要件）を踏まえて説明しなさい。

第3問（50点）

【文章3】において、筆者が喫煙規制を考察する際に尊厳モデルの必要性を説くのはなぜか。①治療モデル及び社会モデルに欠如している「喫煙者の自律という観点」（7頁）の内容を解答者自身の言葉で説明した上で、②著者の主張の要点を、「喫煙の権利」「禁煙の自由」の用語を用いて説明しなさい。